

機構ホームページ掲載用原稿

団体名	公益財団法人 茨城県国際交流協会						
事業名	Welcome to IBARAKI, 留学生と茨城の地域とをつなぐ交流のお手伝い						
実施期間	2025年5月1日～2026年1月31日						
場 所	茨城県小中高等学校、特別支援学校、および生涯学習関連施設等						
参加者数	外国人留学生	日本人学生	地域住民 (留学生以外の外国人)	地域住民 (外国人除く。地域のスタッフ含む)	申請団体スタッフ	その他	合計
	154	10	64	3658	32	120	4038名

<実施内容>

【茨城県留学生親善大使／いばらき応援大使 任命式】
県内の大学・高等学校・日本語学校等から、18か国出身の留学生56名を新たに親善大使として任命しました。また5月には東京国際交流館入居留学生を対象に「いばらき応援大使」の募集を行い、13か国19名から応募があり、選考の結果12か国17名を任命しました。任命者には、茨城県内におけるワールドキャラバンの講師としての活動を始め、日帰り研修バスツアーやホームステイ体験など、当協会の様々な事業への参加を呼びかけました。

【国際理解教育講師等派遣事業（ワールドキャラバン）】
留学生を県内の小中高等学校、特別支援学校及び生涯学習関連団体の実施する授業や国際理解講座の講師として派遣しました。母国紹介や交流活動等を通じて、留学生が児童・生徒や地域住民らと直接ふれあい、日本および母国それぞれの文化に対する理解を深めることができました。

【クエスト茨城留学生研修バスツアー】
地域のつなぎ手としてJA茨城県中央会と連携し、7月に、農業や県産農産物の魅力を知るため県北地域のJA直売所を訪問し販売の仕組み等を学びました。また、水族館で茨城の豊かな海や海洋生物とのふれあいを楽しみました。11月には、県南地域にある河内町の協力を得て、町長はじめ町幹部も参加し、町民ボランティア団体と郷土料理を囲んだランチ懇談会を楽しみました。料理はこの団体が町特産品を使い手作りした健康で美味しいメニューで、作り手と留学生がおしゃべりを楽しみ心が通った交流ができました。留学生はその後牛久大仏にて文化視察もしました。

<記録写真>



茨城県留学生親善大使／いばらき応援大使 任命式の様子



国際交流団体で母国の紹介をするエジプト出身の留学生



日帰りバスツアー河内町での交流会

<参加者からのコメント>

レー ティ フェさん (ベトナム) /Le Thi Hue

バ ゲンさん (中国) /馬 源

ワールドキャラバンに参加して、とても良い経験ができました。日本人の学生と話す中で、文化や考え方の違いを学びました。ベトナムの文化を紹介するとき、みんなが興味を持って聞いてくれて嬉しかったです。この活動を通して、国際交流の楽しさと大切さを感じました。これからも、もっとたくさんの人と交流して、世界を広げていきたいと思いました。

学生のみなさんがあたたかく人懐っこくて、とても嬉しかったです。交流を目指して、「講師」より、インタラクションの進行役の気持ちで内容を準備しました。当日みなさんの反応が想像以上に良く、その過程で、私自身も多くのことを学ぶことができました。参加させていただき、ありがとうございました。

英語名称 (英語版作成用)

団体名	Ibaraki International Association
事業名	Welcome to Ibaraki - Bringing International Students and Locals Together -